

いまできる備え その時できる支え

熊本地震も記憶に新しい中、南海トラフによる地震も遠くない将来に起こると言われています。

災害時は障害の有無に関わらず誰もが同じように被災すると思われがちですが、災害時の死亡率を見ると障害のない人に比べて障害のある人は2倍だったというデータがあります。障害者は災害弱者であるという事実を踏まえ、日常的に障害のある人たちの生活支援に関わる事業所として、どんな備えをしておけばいいのか、災害が起こったとき、私たちに何ができるのか、一緒に考えてみたいと思います。



～災害弱者をどう支えられるか～

- 【日 程】** 9月13日(火)10:00～12:00
【場 所】 障害者サポートセンター舞夢
【受講料】 一般 500円
登録ヘルパー 無料



【講師紹介】浦野 愛 氏

特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事

1976年静岡県生まれ。阪神・淡路大震災では、同朋大学の学生が設立した支援サークル「同朋大学ボランティアネットワーク」に所属し、被災者支援にあたった。卒業後、特別養護老人ホームデイサービスセンターで寮母として勤務したのち、レスキューストックヤードの設立と同時に事務局スタッフとなり、2004年度より事務局長、2009年度より常務理事を務める。災害時要援護者への支援事業を中心に、地域防災・災害ボランティア等、各種講演会・講座講師、支援プログラムの企画・運営を行っている。

TEL/FAX 052-751-7833 名古屋市昭和区花見通1-5
ブログ <http://ameblo.jp/yumegamau/> メール cil-maimu@nifty.com
ホームページ <http://www.cil-maimu.com/>

障害者サポートセンターまいむ舞夢

